

科目ナンバリング		U-LAS27 10004 SJ48										
授業科目名 <英訳>		朝鮮語ⅠB（演習）K1201,K1202,K1203, K1204,K1205 Elementary Korean B					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 郭 旻錫 非常勤講師 文 斗卓 非常勤講師 林 玲穂			
群	外国語科目群				分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	火5/木3/金3/金4/金5			配当学年	全回生		対象学生	全学向	
【授業の概要・目的】												
朝鮮語コースの目的は、「朝鮮半島および日韓・日朝関係を文化的・社会的・歴史的な側面において理解し、東アジアにおいて生きていくための自分なりの世界観を身につけるための語学教育」（世界観養成語学教育）である。広義においては「異文化理解」となるが、単に「異なる文化」を「理解」する、という意味ではなく、自明のものとされがちな「自文化」を相対化し、近接した他者との複雑な関係性のなかでそれを解釈したうえで、今後自らが朝鮮半島とどのような関係をアクチュアルに構築すべきかを考究するために必要な、最低限の語学力を養成することが目的である。この授業では、ハングルと文法の初歩を習得した学生を対象に、初級レベルの文法・語彙・運用能力を訓練しつつ、朝鮮半島の文化・社会・日本と朝鮮半島の関係について学び、考えてゆく。 【注意】本学で「朝鮮語」というのは、朝鮮半島すなわち大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）で使用されている言語のことである。この両国で使用されている言語には若干の相違が認められるが、大差はない。なお、特に大韓民国で使用されている言語を指すときには「韓国語」という呼称を用いる。												
【到達目標】												
初級レベルの文法・語彙・運用能力を身につける。 朝鮮半島の文化・社会・日本と朝鮮半島の関係について理解する。												
【授業計画と内容】												
授業は毎回、教科書の内容に則って進められる。朝鮮語文を毎回日本語に翻訳する。												
第01回 イントロダクション												
第02回 12課 出会い（1）												
第03回 12課 出会い（2）												
第04回 13課 紹介（1）												
第05回 13課 紹介（2）												
第06回 14課 帰国（1）												
第07回 14課 帰国（2）												
第08回 14課 帰国（3）												
第09回 15課 授業（1）												
第10回 15課 授業（2）												
第11回 15課 授業（3）												
第12回 16課 別れ（1）												
第13回 16課 別れ（2）												
第14回 16課 別れ（3）												
定期試験												
第15回 フィードバック												

朝鮮語ⅠB（演習）K1201,K1202,K1203,K1204,K1205(2)へ続く↓↓↓												

朝鮮語ⅠB（演習）K1201,K1202,K1203,K1204,K1205(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、平常点（４０％）および定期試験（６０％）によって行う。なお、「平常点」とは、「出席点」のことではないので注意すること。「出席点」という概念はない。平常点の詳細については授業中に指示する。

[教科書]

郭旻錫『まるごと韓国語』（博英社）ISBN:978-4-910132-98-3

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業で扱う朝鮮語文を、事前に訳してみ、発音の練習をしておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]